

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 32 (当初計画 : No. 30)

東北 森林管理局

取組名	国有林材の安定供給システム (継続)
流域名	北上川中流流域 (遠野)
分類番号	イ-15、カ-22
実施箇所及び実施日	遠野支署管内、平成 25 年 4 月～12 月
取組の背景及び必要性	遠野地区における製材品流通の活性化を図るため。
取組の内容	システム販売協定に基づき、システム協定締結者へ安定的に製材原木を供給した。
国有林担当部局・役割	遠野支署 計画的な木材の販売
連携協働相手先・役割	製材工場等 安定的な木材の購入
取組の結果、反響、今後の課題等	安定的な木材の販売を通じて、地域振興と木材需要の拡大・遠野地域材の普及・宣伝に寄与している。
PR の実施状況及びその期待する効果	安定的な木材の販売を通じて、地域振興と木材需要の拡大・遠野地域材の普及・宣伝に寄与し、地域林業の先導的な役割を果たしている。

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 33 (当初計画 : No. 31)

東北 森林管理局

取組名	「森林のくに遠野まつり」での森林整備等に関する普及活動 (継続)
流域名	北上川中流流域 (遠野)
分類番号	カ-27
実施箇所及び実施日	遠野市 「蔵の道ひろば」 平成 25 年 10 月 12 日・13 日 (土・日)
取組の背景及び必要性	「森林のくに遠野まつり」は、遠野市産業まつりと同時に開催され、遠野市内の林業・木材産業関係者、岩手県、遠野市及び当支署で構成された「森林のくに遠野・協同機構」による市民向けイベントであり官民関係者の連携のもと、国有林及び森林・林業の普及・宣伝に寄与した。
取組の内容	「森林のくに遠野・協同機構」と連携したブースを設置し、国有林野内で採取した木の実や蔓などを利用したリースづくりの体験などから国有林及び森林・林業の普及宣伝を行った。
国有林担当部局・役割	遠野支署 会場設置、リースづくりに必要な材料の採取、リースづくりの指導
連携協働相手先・役割	遠野市、森林のくに遠野・協同機構 (県、市、森林組合、事業者) 会場設置、木工品等の販売、木工教室など
取組の結果、反響、今後の課題等	会場内では、「森林のくに遠野・協同機構」としてブースを設け、森林・林業の普及啓発を行った。 リースづくり、木工教室、パウチづくりが手づくりコーナーとして一体となり、「森林のくに遠野・協同機構」全体を盛り上げることに繋がった。
PRの実施状況及びその期待する効果	リースづくりの参加者は、子供から年配の方まで幅広く、体験を通じて、国有林の取組みや森林・林業の役割についてもPRできた。 今後も継続することにより、遠野支署の知名度アップに繋がると思われる。

【参考資料】

取組名	「森林のくに遠野まつり」での森林整備等に関する普及活動 (継続)
-----	-------------------------------------

○リースづくりの様子



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 34 (当初計画 : No. 32)

東北森林管理局

取組名	「遠野市緑化祭」(継続)
流域名	北上川中流流域(遠野)
分類番号	カ-26
実施箇所及び実施日	遠野市「永遠の丘」 平成25年11月9日(土)
取組の背景及び必要性	森林の役割と森林整備の重要性の啓発及び植樹等の指導を実施
取組の内容	遠野市緑化祭『里山フェスタ2013』を遠野市と連携して開催し、地域住民や市内の森林愛護少年団の団員総勢約230名に植樹作業などの体験を通じて、森林整備の役割と重要性について理解を深めてもらうように取り組んだ。
国有林担当部局・役割	遠野支署 会場設営、植樹などの指導及び講評
連携協働相手先・役割	遠野市、遠野地方森林組合、遠野農林振興センター等 広報による参加者募集、会場設営、送迎バス及び昼食の手配、道具の準備など
取組の結果、反響、今後の課題等	森林整備の重要性及び国有林の役割についての認識・関心が高まるとともに、森林・林業に対する理解を深めることができた。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林の役割や森林整備の必要性についての認識・関心が高まり、森林・林業に対する理解が深まることにより、より一層今後の森林整備への機運が図られることが期待される。

【参考資料】

取組名	「遠野市緑化祭」(継続)
-----	--------------

○植樹作業の様子



○枝打作業の様子



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 35 (当初計画 : No. 34)

東北 森林管理局

取組名	地域林業の低コスト化に向けた現地検討会 (継続)
流域名	北上川中流流域 (遠野)
分類番号	ア-11、オ-21
実施箇所及び実施日	奥州市水沢区 水沢地区センター 平成 25 年 10 月 16 日 (水)
取組の背景及び必要性	効率的な作業システムを検討することにより間伐における低コスト化を推進するとともに、低迷する木材価格の中で需要者ニーズを踏まえた採材を検討し、流域の木材需要の活性化を図る。
取組の内容	「間伐における低コスト化の推進と需要者ニーズを踏まえた採材の現地検討会」と題し、岩手南部森林管理署と合同開催した。「商品としての素材」を意識してもらうため、製材工場の土場において製材する前に外された素材を検証し、需要者ニーズを認識することにより、生産請負現場において採材について再検討する予定だったが、台風の最接近のため現地での検討は中止となり、座学のみとなった。
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署及び遠野支署 関係機関等との対応、現地検討会の参加募集
連携協働相手先・役割	県南広域振興局、奥州市、管内各森林組合、素材生産請負事業者、(株)オノダなど 現地検討会の参加、製材工場での説明 (予定)
取組の結果、反響、今後の課題等	製材工場の担当者から需要動向と製材に適さない素材(欠点)について、具体的に写真等により説明してもらい、採材する際の留意点が理解できた。 今後の課題としては、現地での具体的な検討が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	現地検討会の開催により生産性の向上や低コストで効率的な作業システムの普及・定着等にも貢献するとともに、需要者のニーズを認識し、実際の現場において検証できると期待される。

【参考資料】

取 組 名	地域林業の低コスト化に向けた現地検討会（継続）
-------	-------------------------

○検討会の様子



○担当者から説明の様子



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 36 (当初計画 : No. 36)

東北 森林管理局

取組名	林業体験活動・森林環境教育の実施（新規）
流域名	北上川中流流域（遠野）
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	岩手県遠野市 上綾織国有林 281い1 林小班 平成 25 年 9 月 29 日（日）
取組の背景及び必要性	間伐などの林業体験・森林環境教育の実施により、森林・林業の重要性などについての理解を深める。
取組の内容	NPO 等と連携し、間伐等の林業体験、森林教室等の森林環境教育の実施により、森林・林業の大切さや役割などについて普及啓発を行った。
国有林担当部局・役割	遠野支署 フィールドの提供、間伐などの指導、森林教室、車両借上げ道具の準備等
連携協働相手先・役割	NPO 法人、国土交通省田瀬ダム管理支所、県南広域振興局参加者の募集等
取組の結果、反響、今後の課題等	間伐や枝打の森林体験を通じて、森林の役割及び森林整備の必要性について普及啓発ができた。
PR の実施状況及びその期待する効果	地域と連携し国有林のフィールドを活用した取組みを継続的に実施することにより森林の持つ機能や間伐など森林整備の必要性についても理解を深めることができる。

【参考資料】

取 組 名	林業体験活動・森林環境教育の実施（新規）
-------	----------------------

○森林インストラクターによる「森林の役割について」説明の様子



○間伐作業の様子

